

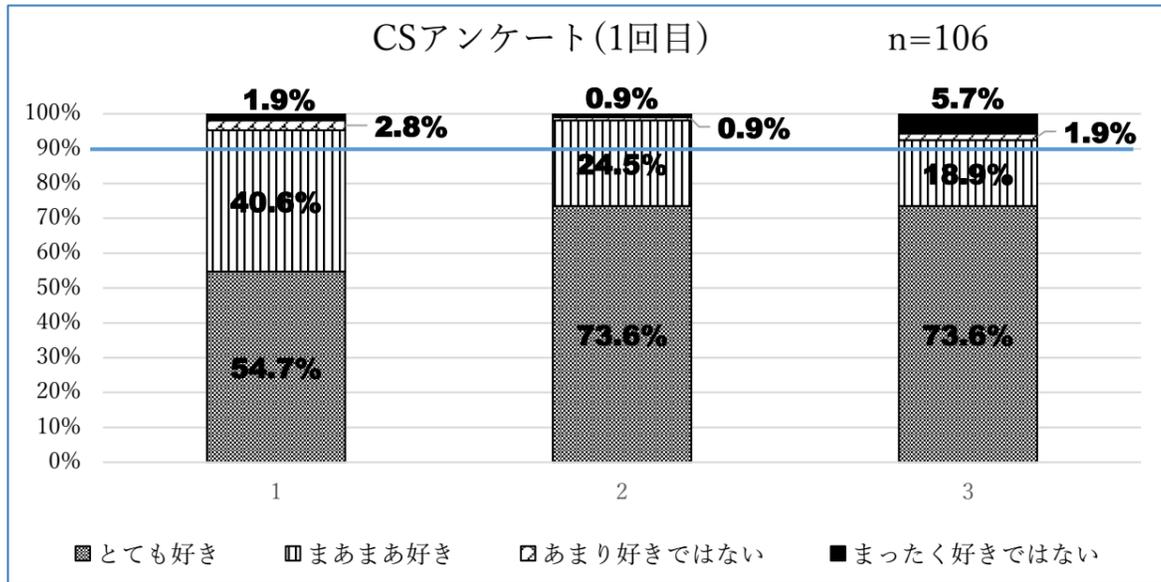
風早っ子 学校も地域も大好き



～児童対象アンケート結果より～

7月上旬に、児童対象のアンケートを実施しました。
「1 学校が好き」「2 地域が好き」「3 地域に支えられている」の問いに、肯定的回答に答える児童が90%を超えました。

【学校が好き…95.3%】【地域が好き…98.1%】【地域に支えられている…92.5%】



主な回答理由に、友達との交流や学ぶ楽しさをあげる児童がほとんどでした。さらに、登下校の見守りボランティア(見守り隊)を始めとする地域住民によるボランティアたちの存在も大きく、様々な場面で関わってくださることが、“地域に支えられている”と感じる要因となっていることが分かりました。

加えて、あいさつや困った時などの声かけについても回答理由としてあげられており、先生や保護者以外の大人からの日常的な声かけが、児童にとってはとても嬉しいことのようにです。今後も、あいさつの大切さを子供たちにも指導していきたいと思ひます。

今回の結果を、学級経営や授業に取り入れ、二回目(今冬実施予定)の結果と比較し、どのように変化したか見ていきたいと思ひます。



これまでの活動

さざなみ・そよかせ学級 お仕事体験

…自立支援センターつばさの皆さん

7月14日(金)、さざなみ学級は「すごいぞ!地いきの人」第三弾で、そよかせ学級は「ちいきのおみせたんけん」の単元で、つばさでお仕事体験をしました。

様々な障害や特性を持った利用者さんが、職員や地域ボランティアたちの力を借りながら、丁寧に作業されていました。子供達も、自分で決めた目標に向かって作業し達成することで、充実感を味わうことができたようです。また、仕事の達人たちから優しく教えていただけて、とても楽しそうでした。



放課後こども教室通信

今年度の放課後子ども教室が始まって数か月経ちましたが、高校生と小学生はあっという間に仲良くなり、互いにこの日を待ち遠しく思っているようです。今回の通信では、昨年から参加してくれている高校2年生に、この放課後子ども教室に参加した理由について書いていただきました。

私が風早小学校放課後子ども教室に参加しようと思った理由は、将来保育士になりたいと思っているからです。子供と関わる仕事なので、今のうちから少しでも経験になればと思い、参加しました。

参加してくれている小学生たちは、すごく元気で初めましてでも話しかけてくれました。「今日はこんなことがあったんだよ!」などと話してくれることも増え、私が小学生だった頃とは違う事が知れて、とても新鮮です。

昨年はコロナウィルスもあり、やりたいと思っていたことが出来なくなりましたが、今年はその分たくさん楽しい事をしていきたいです!豊田高校に入学して、子供教室に参加できてとても嬉しいです。他の高校ではあまり体験できることでは無いので、この環境にとっても感謝しています。